

科目名		専攻ダンススキル3								年度	2024		
英語科目名										学期	後期		
学科・学年		ダンスパフォーマンス科 1 年次				必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員		安藤未緒				教員の実務経験		有	実務経験の職種		ヴォーカリスト		
【科目の目的】													
ボーカルの基礎となる呼吸法を習得するための演習を行います。 必要に応じて課題曲の発表やグループでのアンサンブルを実施します。 応用としてのステージング指導を行っていきます。 実際にスタジオを使用しての発表会も予定しており、基礎的な授業から実践的な授業まで受ける事ができます。													
【科目の概要】													
このレッスンはダンスボーカリストとして必要な発声や歌唱実習、リズムトレーニングを中心にグループでのアンサンブルやダンスの構成まで総合的に学びます。ボーカルダンスを意識した呼吸法の習得を第一とし、その後の応用としてオーディション対策やグループを形成し発表を行います。授業以外でも毎日実践できる体操や呼吸法を授業内で指導しますので、自主練習をすることでより技術の習得ができます。													
【到達目標】													
到達目標A：ボディエクササイズを理解し、習慣的に実践した成果が実感できる 到達目標B：発声・ハミングのメカニズムを理解し、習慣的に実践した成果が実感できる 到達目標C：楽曲のコンセプトを理解しリズム・音程通り歌う事ができ表現できる 到達目標D：楽曲のコンセプトを理解したダンスや細かい見せ方も研究し表情管理ができる 到達目標E：アーティスト同様のライブパフォーマンスをすることができ、個性をしっかりと出すことができる													
【授業の注意点】													
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。													
評価基準＝ルーブリック													
ルーブリック 評価		レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力			
到達目標 A		ボディエクササイズを 理解し、習慣的に 実践した成果が わかる				ボディエクササイズ を理解し実践できる				ボディエクササイズを 理解できない、 実践する ことができない。			
到達目標 B		発声・ハミングの メカニズムを 理解し、習慣的に 実践した成果が わかる				発声・ハミングの メカニズムを 理解し実践できる				発声のメカニズムを 理解できていない 実践することが できない			
到達目標 C		楽曲通りの リズム・音程通り 歌う事ができ またコンセプトを理解した 表現できる				楽曲通りの リズム・音程通り 歌う事ができる				楽曲のリズム・ 音程通り歌えない			
到達目標 D		楽曲のコンセプトを 理解し、見せ方など 細かく研究した パフォーマンスができる				楽曲のダンスを 踊ることができる				楽曲のコンセプトを 理解した ダンスや 表情管理ができない			
到達目標 E		プロ意識をもった ライブパフォーマンス ができる				ライブパフォーマンスを する努力がみえる				ライブパフォーマンス ができない			
【教科書】													
必要のある場合はプリントを配布する													
【参考資料】													
【成績の評価方法・評価基準】													
試験・課題 30% 試験と課題を総合的に評価する レポート 40% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する													
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。													

科目名		専攻ダンススキル3				年度	2024
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	個々のスキルチェック	スキルチェック	1	自己紹介	相手に印象に残るような自己PRができる	2	
			2	スキルチェック	人前でベストパフォーマンスができる		
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる アーティストとして求められる事の理解を深める		
2	メソッドについての説明	体の仕組み 声帯の仕組みの 理解を深める	1	ボディエクササイズ	ボディエクササイズの理解を深める	2	
			2	ブレスコントロール	ブレスコントロールの理解を深める		
			3	タンエクササイズ	タンエクササイズの理解を深める		
3	ボディエクササイズ発声の基礎を理解する（実践）	実践を通して さらに 理解を深める①	1	ボディエクササイズ	ボディエクササイズの実践を通してさらに理解を深める	2	
			2	ブレスコントロール	ブレスコントロールの実践を通してさらに理解を深める		
			3	タンエクササイズ	タンエクササイズの実践を通してさらに理解を深める		
4	ボディエクササイズ発声の基礎を理解する（実践）	実践を通して さらに 理解を深める②	1	ボディエクササイズ	ボディエクササイズの実践を通してさらに理解を深める	2	
			2	ブレスコントロール	ブレスコントロールの実践を通してさらに理解を深める		
			3	タンエクササイズ	タンエクササイズの実践を通してさらに理解を深める		
5	基礎テスト	正しく基礎が できているか 確認	1	ボディエクササイズ	ボディエクササイズのテストを行い正しくできているか確認	2	
			2	ブレスコントロール	ブレスコントロールのテストを行い正しくできているか確認		
			3	タンエクササイズ	タンエクササイズのテストを行い正しくできているか確認		
6	課題曲を使用して基礎を学ぶ①（実践） （基礎・母音チェック・リズムの取り方）	課題曲を使用して 歌唱の基礎を学ぶ	1	楽曲の理解	課題曲のコンセプトを理解する	2	
			2	母音チェック	楽曲の母音を書き出し母音でしっかり発声できる		
			3	リズムの取りかた	楽曲のリズムを理解し表拍でリズムがとれる		
7	課題曲を使用して基礎を学ぶ②（実践） （基礎・母音チェック・リズムの取り方）	課題曲を使用して 歌唱の基礎を学ぶ	1	音程通り歌う	楽曲の音程通り歌唱できる	2	
			2	母音チェック	楽曲の母音を書き出し母音でしっかり発声ができる		
			3	リズムの取りかた	楽曲のリズムを理解し裏拍でリズムがとれる		
8	課題曲を使用して基礎を学ぶ③（実践） （走りながら歌う練習）	課題曲を使用して 応用を学ぶ	1	音程通り歌う	楽曲の音程通り歌唱できる	2	
			2	母音チェック	楽曲の母音を書き出し母音でしっかり発声できる		
			3	走りながら歌う	走りながらも基礎となる発声方法で歌う練習を行う またブレスコントロールができる		
9	課題曲を使ってのグループワークトレーニング①	課題曲を使用して ダンスボーカルの 基礎を学ぶ	1	楽曲のコンセプト	チームで課題曲のコンセプトを決め共通目標を決める	2	
			2	母音チェック	楽曲の母音を書き出し母音でしっかり発声できる		
			3	ダンス	楽曲のダンスの振りや構成を覚えパフォーマンスできる		
10	課題曲を使ってのグループワークトレーニング②	課題曲を使用して ダンスボーカルの 基礎を学ぶ	1	発声練習	基礎を行い正しくウォーミングアップできる	2	
			2	歌唱練習	発声含めた、歌唱練習を行い歌唱のレベルを高める		
			3	ダンス	楽曲のダンスの振り・構成を覚えパフォーマンスできる		
11	課題曲を使ってのグループワークトレーニング③	課題曲を使用して ダンスボーカルの 基礎を学ぶ	1	発声練習	基礎を行いウォーキングアップする	2	
			2	歌唱練習	発声含めた、歌唱練習を行い歌唱のレベルを高める		
			3	ダンス	楽曲のダンスの振り・構成を覚えパフォーマンスできる		
12	課題曲に沿ってステージ発表準備①/実践練習	課題曲を使用して チームワークでの ステージパフォーマンス を学ぶ	1	表現	本書同様のパフォーマンスを行い 楽曲のコンセプトを理解した表情管理ができる	2	
			2	マイキング練習	マイクをもったパフォーマンスに慣れる またマイクを通して発声ができる		
			3	チームワーク	個人プレーにならないよう、チームワークをもって パフォーマンスができる・協調性を磨く		
13	課題曲に沿ってステージ発表準備②/実践練習	課題曲を使用して チームワークでの ステージパフォーマンス を学ぶ	1	表現	本書同様のパフォーマンスを行い 楽曲のコンセプトを理解した表情管理ができる	2	
			2	マイキング練習	マイクをもったパフォーマンスに慣れる またマイクを通して発声ができる		
			3	チームワーク	個人プレーにならないよう、チームワークをもって パフォーマンスができる・協調性を磨く		
14	課題曲に沿ってステージ発表準備③/実践練習	課題曲を使用して チームワークでの ステージパフォーマンス を学ぶ	1	表現	本書同様のパフォーマンスを行い 楽曲のコンセプトを理解した表情管理ができる	2	
			2	マイキング練習	マイクをもったパフォーマンスに慣れる またマイクを通して発声ができる		
			3	チームワーク	個人プレーにならないよう、チームワークをもって パフォーマンスができる・協調性を磨く		
15	課題曲テスト	テスト	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる	2	
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等